

さがが緑蔭の集い二十周年記念

「禅のトータルイベント」「禅の会」

本年度の後期禅の集い研修会を、九州を会場として開催するに当たり、九州曹洞宗青年会(会長 久賀永雄)では、八月二十九、三十日の両日、緑蔭の集い二十周年記念事業を行う曹洞宗佐賀県青年会(会長 三浦祥善師)から出された企画に注目し、この記念事業に全面的な協力参加することによって、後期禅の集い研修会を実施することとなった。

当日は全曹青から神野哲州会長、桂川道雄研修委員長も出席した。「禅」を視覚、聴覚、味覚を通して説き、総合的な禅の世界を展開するという新しい試みは見事に成功し、これまでにない参加者を集め、三つに分けて設けられた会場では終日人々が絶える事がなかった。

曹洞宗佐賀県青年会が毎年行ってきた「緑蔭の集い」は、会員の大衆教化にかけぬ情熱と地道な努力によって続けられてきたが、二十年目という節目を迎える事になった本年、これ迄の緑蔭の有り方を根本から見直し、全く従来とは異なった形式・内容をもって大衆に問いかけたのが、今回の「禅の会」であったといえよう。

宗門の先覚者達が、かつて高度成長の只中であって速度を増して変化していく社会現象のなかで、仏教者のあるべき姿を模索し、禅の立場から寺院の門戸を開き一般の大衆に向って働きかけた一つの形として出てきたのが、「禅の集い」であった。爾来、その基本的な姿勢と方法は我々にまで受け継がれてきている。そして曹洞宗佐賀県青年会はその草分け的存在でもあった。

現在、各地に於て、県単位あるいは各寺単位で禅の集いが行われているが、何れの場合でも回を重ねれば重ねる程出てくる問題が「頭を悩ませる」内容、カリキュラムのマネリ化を如何に活性化して会を盛り上げていくか、という事ではないだろうか。

佐賀曹青もまたこの例外ではなかった。将に行ずるは易く、行じ続けるは難しである。さて、様々な曲折の検討を経て、出された一つの答えとして、今回の「禅の会」があった。

切パス等を利用して来た参加者で、広い本堂は座る場所のない程埋め尽され、熱気は普段は涼しい本堂の温度を一気に数度も上げたように思えた。

まず、佐賀曹青会長 三浦祥善師の挨拶があり、佐賀県青年会 関安尚師、その後は遠路駆けつけた全曹青桂川研修委員長が挨拶してオープニングセレモニーが終了、「禅を開く会」が始まった。

講師は、長崎平崎寺専門僧堂々長金子福山老師で、三時間に渡って禅の立場から、仏教とは何か、そして我々は何を依り処としていかに生きていく、という最も身近な命題を解り易く説かれていた。

続いて会場では、「坐禅」の研修が行われた。参加者多数のため座蒲使用が不可能な状態で、曹青会員が高座の上から

第一会場「高伝寺」

ここは肥前鍋島、六十二万石代々の藩主の菩提寺で、佐賀観光のコースともなっている有名な古刹である。境内は二万余坪あって、鬱蒼と茂った大樹の中にあつて外界の喧嘩を忘れ、遠い昔に思わずタイムスリップしそうな行いで、「禅の会」にはこの上ない会場である。

ここは肥前鍋島、六十二万石代々の藩主の菩提寺で、佐賀観光のコースともなっている有名な古刹である。境内は二万余坪あって、鬱蒼と茂った大樹の中にあつて外界の喧嘩を忘れ、遠い昔に思わずタイムスリップしそうな行いで、「禅の会」にはこの上ない会場である。

ここは肥前鍋島、六十二万石代々の藩主の菩提寺で、佐賀観光のコースともなっている有名な古刹である。境内は二万余坪あって、鬱蒼と茂った大樹の中にあつて外界の喧嘩を忘れ、遠い昔に思わずタイムスリップしそうな行いで、「禅の会」にはこの上ない会場である。

ここは肥前鍋島、六十二万石代々の藩主の菩提寺で、佐賀観光のコースともなっている有名な古刹である。境内は二万余坪あって、鬱蒼と茂った大樹の中にあつて外界の喧嘩を忘れ、遠い昔に思わずタイムスリップしそうな行いで、「禅の会」にはこの上ない会場である。



「禅の会」をふり返って
さがが緑蔭の集い二十周年を記念して、今や時代の朋光を浴びんとする「禅」をもっと広く社会にアピールしようという企画開催した「禅の会」は八月二十九日、三十日の両日にわたって参加者がなんと延べ二千人にも及ぶ大盛況を博しました。

第13回 インド・中国仏跡巡拝の旅

A 釈尊六大聖地巡拝の旅 (8日間)
342,000円 (大阪・東京発着)
(昭和62年10月1日-昭和63年3月、毎週水曜日発)

B 釈尊六大聖地巡拝とタージマハールの旅 (12日間)
375,000円 (大阪・東京発着)
(昭和62年10月1日-昭和63年3月、毎週水曜日発)

C 仏陀の生涯を訪ねて (18日間)
468,000円 (大阪・東京発着)
(昭和62年11月4日発、昭和63年2月24日発)

D インド仏教美術探訪の旅 (8日間)
298,000円 (大阪・東京発着)
(昭和62年12月20日-27日)

E 特別企画 YOUNG IN 仏跡 (40歳未満)
釈尊六大聖地とヒマラヤ・ヒンズー世界へ19日間
388,000円 (大阪・東京発着)
398,000円 (福岡発着)
(昭和63年2月17日-3月6日)

規定：この旅行への参加は40歳未満の方に限らせていただきます。
詳細は書画がありますのでご希望の方はお申し付け下さい。

＝1987,88年度団体企画の受けつけ＝

同好の目的をもった御仲間あるいは檀信徒とのオリジナルインド・中国仏跡巡拝の旅の団体企画の募集を致しております。5・6名様以上の同行者がいらっしゃいましたら、お早目にご相談下さいませ。

お申し込み・お問合せは

ASHOKA TOURS アショカツアーズ (株) ビーエス 観光

〒530 大阪府北区中之島3丁目6-32(大阪ビル内)
電話 444-2225 担当 中村(山下)・伊藤
〒104 東京都中央区銀座1丁目5-1(第3大塚ビル内)
電話 563-2691 担当 木村・花島・田島

曹青東北地方集会福島大会 「生きる」



「写真展・禅」が開かれていた。佐賀県庁と同じ旧佐賀城の場の中にある会場は、広い敷地に充分なスペースをとり建てられていた。二階が画廊になって、ゆつたりとした部屋に入ると、広い壁面に大伸ばされた四十数点の写真が飾られている。

淡妄会の人達の協力で催され、静かな緑蔭の清風が渡る中で、一期一会の禅の趣きを感じ取り、味わっていた。

翌三十日の朝を迎えた第一会場の高伝寺には清々しい涼気の中、近隣から親子連れや若者達が集まり、正午の六時頃に四十分近くの本参拝者として、広い壁面に大伸ばされた四十数点の写真が飾られている。

第二会場「佐賀県立美術館」

坐禅の組み方の見本を示して指導が行われた。

午後五時からの「グルメ精進料理」は、最近のグルメブームの影響も加わってか、希望者が多く、予約を途中打ち切る程であった。機に恵まれ、中には、普段機会がない本式の精進料理を静かに味わって、「食」についての説明に頷いていた。内容も充実し、円会費であることから大変好評であった。

第三会場「禅の茶会」

写真という視覚メディアを通して、インドに始まった仏教が、我々の日常生活の中で生き生きと存在しているという事を、見る人をして薄き気付けさせる様構成された。写真は、写真の切れ目には、名僧の墨蹟や池坊宗匠の人達による生花が適量分量で配置され、素晴らしい視覚空間が作り出されていた。

「生きる」をテーマに、全曹青野会長、桂川研修委員長、またさらには顧問吉岡種憲師の出席を得、日程にしたがって大会が進められた。

東の入口はあの野呂英世を育てた猪苗代

くしに喜びと感謝の声が聞かれた。

また、午前中は本堂が解放され、参拝希望者は自由に入室し、禅の指導を受けられる様になっており好評であった。

午後には前同様、一時引き金子老師の講演があり、引き続き、時から曹青会員の指導による「坐禅」の修行が行われ、一五〇名程の参加者が、前日できなかった「坐禅」に親しんだ。

こうして、二日間に渡って実施された「禅」の会は、延べ二百六十余名という参加者を集め、大盛況裡に幕を閉じた。

今回の「禅の会」は、今後の禅の集いの有り方を模索する一歩としても大変参考となるものであろう。

最後に、普段の地道な精進と、事を起こすに当てる強力な精神力と抜群の行動エネルギーをもつ成功に導いた佐賀曹青と、主催の九州曹青に敬意を表し、賞讃の拍手を送りたい。

「禪の会を終了後、大盛況の報告と御礼をかねるとともに、創立二十周年、縁結の集い二十周年記念パーティ、玉姫院に会場を移し、宗務所長老師、宗務所後継職員、宗会議員、各学区長老、梅花流墨師範会会長、曹青会歴代会長、禅の会、会場主高伝寺様のご臨席を賜り、会員諸兄を含め約百〇名で盛大に祝いました。

この日は台風接近で大荒れ、家路を急ぐ者、二次会へ行く者、四十三メートルの風が吹き荒れ、あが大変です。

最後に佐賀曹青記念事業「禅の会」が今後の禅の集いに新しい方向性を生み出してくれるものと思えます。

詳しくは文書等を希望される方は一報いただければお送り致します。

「禪の会」を終了後、大盛況の報告と御礼をかねるとともに、創立二十周年、縁結の集い二十周年記念パーティ、玉姫院に会場を移し、宗務所長老師、宗務所後継職員、宗会議員、各学区長老、梅花流墨師範会会長、曹青会歴代会長、禅の会、会場主高伝寺様のご臨席を賜り、会員諸兄を含め約百〇名で盛大に祝いました。

この日は台風接近で大荒れ、家路を急ぐ者、二次会へ行く者、四十三メートルの風が吹き荒れ、あが大変です。

最後に佐賀曹青記念事業「禅の会」が今後の禅の集いに新しい方向性を生み出してくれるものと思えます。

詳しくは文書等を希望される方は一報いただければお送り致します。

東の入口はあの野呂英世を育てた猪苗代

「生きる」をテーマに、全曹青野会長、桂川研修委員長、またさらには顧問吉岡種憲師の出席を得、日程にしたがって大会が進められた。

東の入口はあの野呂英世を育てた猪苗代

速早、記念講演「仏教の未来」一徳一大師の思想を再考する」と題して、会津に根ざした仏教文化に一般として、徳一大師の講演が、高橋富雄先生より行われた。

基調講演は曹洞宗布教師養成所主任講師、福島県興国寺住職、津澤彦師が「先除慮し度ることあること」一現代社会に問う宗門の教化活動の一の題のもとに、社会教化のあり方、社会とともに生きる「とも生きる」の講演が行われ第一日目の日程を終えた。

第二日目は、全曹青会長、神野哲州師より、全曹青現況報告、会長所信表明と報告が行われた。

全国では五十団体及び曹青が結成され活発な活動が展開されている、全国曹洞宗青年会も各地の曹青を迎えようことができ、全曹青は各地の曹青の連絡調整機関という性格を明瞭にし、各地の曹青代表による運営を計り、構成委員は各曹青役員とさせていただきます。今月では登録会員数四千名に間もなくなるであろう。

宗教者は常に社会的な存在であり、社会の宗教に対する無関心さは、常に大きな問題で解決の方法を見つけることは容易ではない、僧侶が共に手を組み自由に活動できる場を得て初めの僧侶

我々東北青年宗侶が一丸となつて、ここにテーマ「生きる」のも第二回東北地方集会福島大会を開催した。現代社会の風潮をアツキと見るとき、科学技術の急進と物心のアンバランスが人間の良心を徐々に浸蝕しつつあることを看過することはできない。我々はこのような懐疑を現実の渦中において、今こそ担担の我を見離れ、柔軟心を忘れず社会浄化に打ち出さるべきである。さらに、釈尊より相承してきた法灯の重みと歴代祖師方の精進の伝統を踏ま、和合僧の確立期するものである。

そしてこれこそがスローガンである大衆教化の接点となることを我々一同に思い固く信じ、本大会の決議文とする。

大会決議文

「生きる」をテーマに、全曹青野会長、桂川研修委員長、またさらには顧問吉岡種憲師の出席を得、日程にしたがって大会が進められた。

東の入口はあの野呂英世を育てた猪苗代

速早、記念講演「仏教の未来」一徳一大師の思想を再考する」と題して、会津に根ざした仏教文化に一般として、徳一大師の講演が、高橋富雄先生より行われた。

基調講演は曹洞宗布教師養成所主任講師、福島県興国寺住職、津澤彦師が「先除慮し度ることあること」一現代社会に問う宗門の教化活動の一の題のもとに、社会教化のあり方、社会とともに生きる「とも生きる」の講演が行われ第一日目の日程を終えた。

第二日目は、全曹青会長、神野哲州師より、全曹青現況報告、会長所信表明と報告が行われた。

全国では五十団体及び曹青が結成され活発な活動が展開されている、全国曹洞宗青年会も各地の曹青を迎えようことができ、全曹青は各地の曹青の連絡調整機関という性格を明瞭にし、各地の曹青代表による運営を計り、構成委員は各曹青役員とさせていただきます。今月では登録会員数四千名に間もなくなるであろう。

宗教者は常に社会的な存在であり、社会の宗教に対する無関心さは、常に大きな問題で解決の方法を見つけることは容易ではない、僧侶が共に手を組み自由に活動できる場を得て初めの僧侶

我々東北青年宗侶が一丸となつて、ここにテーマ「生きる」のも第二回東北地方集会福島大会を開催した。現代社会の風潮をアツキと見るとき、科学技術の急進と物心のアンバランスが人間の良心を徐々に浸蝕しつつあることを看過することはできない。我々はこのような懐疑を現実の渦中において、今こそ担担の我を見離れ、柔軟心を忘れず社会浄化に打ち出さるべきである。さらに、釈尊より相承してきた法灯の重みと歴代祖師方の精進の伝統を踏ま、和合僧の確立期するものである。

そしてこれこそがスローガンである大衆教化の接点となることを我々一同に思い固く信じ、本大会の決議文とする。

お任せください。 改葬 増設 新設

新しい祈りの文化を創造する

大モリアルアートの大野屋

本社：〒187東京都小平市美園町3-2-5 大野屋ビル ☎0423-44-4111

寺院墓地の二相談受付は

- 大 阪 支 店 ☎06-344-7777
- 横 浜 支 店 ☎045-312-4111
- 京 都 支 店 ☎03-486-7777
- 浦 和 支 店 ☎0486-32-4111
- 相 模 原 支 店 ☎0427-54-4111
- 松 崎 支 店 ☎0474-24-7111
- メモリアルカルチャーセンター ☎03-361-4111

◆墓地の企画・造成をはじめ、開葬・経営許可の申請手続きの代行、資金のご相談、永代使用申込者(檀家)の募集受付・管理業務、建築設計・施工請負など、すべてお任せください。

◆納骨堂、無縁供養塔の建立もお受けしております。

◆寺院仏具、檀家の方の仏壇・位牌のご注文を承ります。

お気軽にご相談ください。

研修会報告

『発心』について「続・得度式」

総会に引き続き、愛知第三の諸兄により、「得度式」の実演が実施された。行持規範や解説書を読んでもなかなかピンとこないが、実演を見ていただくと、まことに判り易いものであった。当日、B5判三〇ページの小冊子をテキスト（愛知第三曹青・編）としていただいた。できたら参考書に全会員に配布を本部で考えていただきたいが、愛知第三曹青で「叢林」という題で記念出版を計画されています。その中で得度式の作法も含まれていくので、出版が楽しみです。

さて、得度式は、我々も体験してきました。儀式であるが、在家出身の人とお寺で生まれ育った人とは、得度式に対する考え方が根本的に違うように思われる。その原因は、年齢からくるものであろうか。在家出身者は得度式をだいたい二十歳前後、或いはそれ以上の年齢で経験するのに対して、寺院出身者はそれよりも年齢が大きく下がる。「出家」という言葉も、在家出身者はそのまま受け取ることも出来るが、寺院出身は「出家」とも、今までのあらゆる環境を捨てて出ていくのである。「出家」したら今の衣服を捨てて、袈裟・衣作務衣で生活をしようと思えば、在家出身者には可能である。寺院出身者は何のこだわりもなく洋服を着る。こんなところにも各々の置かれていた立場の違いを感じる。寺院出身の方が、仏教に対する取組姿勢に、出家地点から大きなハンデイがあるように思う。そのハンデイというのは、年齢や環境の問題だけでなく、お坊さんになるのだ」という自己の意志の問題である。得度式に臨むとき、在家出身者は自己の意志が大きく働いているのに

対して、寺院出身者の場合は「親の意志」が大きく影響を及ぼしている。得度式で最も大切なのは、「お坊さんになるのだ」という自己の意志です。「発心」です。行持規範の得度式作法にも「発心の人」と書かれてあり、また得度を「発心した」とする人々、「新発心」と呼んでいる。あたりまえのことながら、得度を受けようとする人の心の中に、「発心」があることが前提になって、得度式は成立している。

その「あたりまえのこと」を忘れてしまっているのではないだろうか。私達は一度冷静に、「自己の発心」についてよく考えたいと思う。「発心」の時期は、いつだったのか。得度式のときか、駒込に入ったときか、本山に安居したときか。自分の意志でこの道に進んだという。「発心」がなければ、いつまでも親の意志が働いたままである。親の意志が働いたまま本山に修業までかかるから、修業が辛いものになる。

また指導する者は、弟子子供がどの時期に「発心」するのか、見極めなくてはならない。得度式で一番不可欠なのは「弟子子供の発心」というのを矢落させたまま、私達は得度式に臨まなければならないのが、現状です。現代の得度式といえるものは、今後の発心を期待する儀式と考えるべきでしょうか。昔は考えられなかった問題が、今はとりわけ重要な問題になっていく。この問題を解決しておくかなければ、僧職の仕事と動に自信と誇りが持てなくなる。逆に発心と問題に自信の無い人は、自己の意志の問題が解決していないのである。

仏教伝道協会で花山先生の講話を聞いた。仏教界は、優秀な人材をどんどん外部にだしていると思う。寺の跡取りを考えると、子供が三、四人いても、優秀な子供はお寺を出ていく、残った子供が跡取りでは、という指摘である。こんなことを三代三統続けていたら、仏教界はどうなるのかね。と、すどの先生の指摘である。笑って聞いていたが、まったくそのとおりである。得度式に発心が欠落している、そのまま僧侶として成長しているのだから、とりたてて寺の跡を継ぎたいとも思っていない。親は子供に発心有るものだと、思っている。その時期、決定的な指導が、子供から親へ渡さなければならない。優秀なと言われる人材が流失してもまわらない、ただ跡取りに発心があるかどうか、大問題である。

我々も指導者として得度式に臨まなくてはならない時期がある。たぶん「発心」の人、は自分の子供であろう。「発心」の問題を抜きにして、その次に障害になるのは剃髪のことであろう。本行への届ける書類に写真の添付が義務付けられているので、ごまかしがきかない。愛知第三曹青のテキストにも、

形同作法
形像を仏祖、大僧・沙弥に対して比丘を大僧というと同じくするに、剃髪、授衣鉢の作法までのことである。故に得度式に於いて、剃髪を略した。得度の真意を失うことにならぬ。剃髪の大切さが示されている。本行の書類をハスするため、坊主頭のカツラを付けて記念写真を写す。これではいけない。我々僧侶は、お葬式の時の後者などと言いたくはない。怒りを通りこして、悲しくなってしまう。子供が承知しないので、と、言い訳がきかぬ。親のために得度式が存在しているよである。本が転倒している。

剃髪に関しては、環境が大きく左右するようには思えない。親・師匠が剃髪しているのに子供・弟子に剃髪は強制される。親・師匠が剃髪しているとき、剃髪を受け入れるかどうか、剃髪と袈裟・衣のかたが、に関する問題は、小倉玄照老師の「かたち」ところ、緑陰新書⑤宗務行刊」に書かれてある。現今の宗門においては、やむなく兼職をされている方が大多数を占めている。兼職をされ、勤めの関係で頭の毛を長髪

な子供はお寺を出ていく、残った子供が跡取りでは、という指摘である。こんなことを三代三統続けていたら、仏教界はどうなるのかね。と、すどの先生の指摘である。笑って聞いていたが、まったくそのとおりである。得度式に発心が欠落している、そのまま僧侶として成長しているのだから、とりたてて寺の跡を継ぎたいとも思っていない。親は子供に発心有るものだと、思っている。その時期、決定的な指導が、子供から親へ渡さなければならない。優秀なと言われる人材が流失してもまわらない、ただ跡取りに発心があるかどうか、大問題である。

我々も指導者として得度式に臨まなくてはならない時期がある。たぶん「発心」の人、は自分の子供であろう。「発心」の問題を抜きにして、その次に障害になるのは剃髪のことであろう。本行への届ける書類に写真の添付が義務付けられているので、ごまかしがきかない。愛知第三曹青のテキストにも、

わんぱく ZENスクール

茨城曹青実行委員長 秋元裕峰

大洗港から船「はるな」に乗って北海道へ。船上では、朝のラジオ体操とレクリエーション、ジャンカなどを踊りました。ちなみにこのあと、わが会員達は息を切らしていました。途中、イルカの大群があって、みんな大喜びでした。



坐 禅



登別の地獄谷、アイヌの白老ボルトコタン、支笏湖を経へ日高の少年の家に到着し、北海道の大自然の中で、サッカー、キャンプファイヤー、坐禅など……のびのび遊んできました。また、帰りの飛行機では、初めて乗る子供がほとんどで、目を離かせながら外の景色を眺めていたのが印象的でした。

子供達の作文中に、「楽しかった。また参加したい」ということが書いてあり、子供達は、この北海道で友だちを作り、いろんなことを学んだことと思います。



国立日高自然の家入所式



全てセルフサービスの食事

流し燈籠

水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!

◆特長◆

- 流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
- 約30分位水面に浮き、その後完全に溶解します。
- 無毒・無害であり溶解後も河川を汚染しません。
- 回収の必要がほとんどありません(諸官庁許可済)

1基(大)700円 (小)360円

株式会社 光和

水に浮かぶ玉ローソク

火気に対しては、絶対安心です。戸外でも、ご利用できます。

大玉(5時間) 5ヶ入 600円
小玉(2時間) 5ヶ入 450円

●ご寺院専用真鍮燭台
□平素お詣り時の灯明用
□ご法要時の補助灯明 (視認発光教用)

空・風・火・水・地の五色入 [五如来様]

高さ25cm特注品極上磨き (化粧箱入)
1対(2基)大玉10個付
29,600円
お施読鬼用(5基)大玉30個付
68,000円

〒251 神奈川県藤沢市辻堂元町2-20-17
TEL. 0466(33)6301(代表)
(36)4111(直通)



弁護士 尾関孝英

いわゆる靈感商法と

その対策(一)

にしている我々の仲間、発心の件、刺
 髪と二重に不利な立場に追い込まれ
 てしまつて、
 在家出身者と寺院出身者、兼職の者と
 専任の者。立場それぞれ異なる、個々
 も異なる。しかし、「お坊さんとい
 う仕事が好きだ」という、共通の土壌が

ある。これが、青年会活動の原動力だと
 思う。活動を通して、自己の「発心」の
 確立と、次の世代への「発心問題」の解決
 の糸口を探りたい。せいで、
 青年会のメインテーマである「生命、
 のち」を考えると、仏道修行の入口、
 まさに仏弟子としての「生命」をい

ただ「得度式」とらえかたで、私達
 は悩ま苦しみます。この苦しみが、青年
 会仲間への大切な財産であり、研鑽のエネ
 ルギーでもあろう。

全曹青研修委員会

いわゆる靈感商法は宗教的色彩を帯び
 ています。これは、やはり詐欺的商法である
 ことには変わりありません。そこで、
 本家の宗教活動、布教活動に伴う物品
 の販売とは異なり、数々の法律問題が発
 生します。今回は、このような靈感商法
 に関する違法あるいは不法の問題につい
 て法理的見地から述べてみたいと思いま

まず、靈感商法の手口は、「因縁を切
 らない」と子どもが早死する、「とち
 が欠けている。これでは不幸になる」と
 か、何ら科学的、合理的な根拠のないこ
 とを述べた上で、価値のないものをあた
 かも高値なものでして販売しています。
 こように虚偽の事実を申し述べてお金
 を出させる行為は、民法上の詐欺にあた
 り取り消すことが可能です。民法九六条。
 また、セールスブックの内容が、消費者
 を畏怖させて購入を迫る程度になれば
 強迫民法九六条に当たり、やはり取り
 消すことが可能です。そして、内容によ
 っては民事上の責任のみならず刑事上の責
 任を発生させることも充分考えられ、詐
 欺罪、恐喝罪などにあることになるで
 しょう。現に、靈感商法の手口について
 恐喝罪を適用し判決もあるようです。

よる販売ではなく、原価の数十倍、数百
 倍の価格で販売するもので、明らかに暴
 利行為と言えます。如何に宗教的な色彩
 が加わろうと、宗教を濫称し、限度を超
 えた暴利行為が許されるはずはありません。
 その上、具体的な販売方法をみても、不
 買手の欲みに乗じ、不安を煽つて不必要
 なものを販売する点で、目的にも反社会性
 を持った販売行為、あるいは暴利行為に
 ついて、法は契約の効力を認めず、「公
 序良俗」に反する行為として無効として
 います。民法九〇条。
 さらに、印鑑、壺、多宝塔等は訪問販
 売法の指定商品であり、訪問販売によ
 り購入したなり、割賦による場合
 にはクーリングオフの適用があり、一定
 期間内に売主に対して書面を通知するこ
 とによって無条件の契約を解除すること
 が可能です。
 その他にも靈感商法を巡る法律問題は
 沢山あります。例えば、商品によっては
 薬事法の規制対象となります。無許可
 販売に該当するともあります。また、許
 可なく、販売組織自体が反社会性を持つも
 のとして、これに関わる業者、販売員が
 共同不法行為として損害賠償責任を負
 うこともありえます。

Photo diary 海をわたって「北海道」

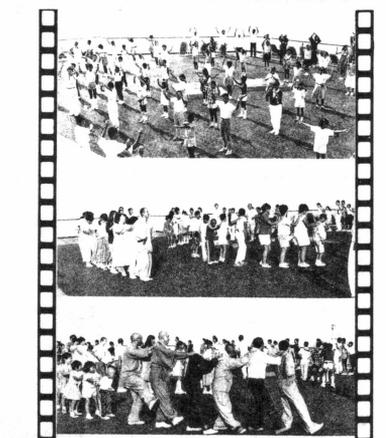
茨城県曹洞宗青年会が、創設30周年
 の記念事業の一環として、次代を担う
 青少年の育成のために「わんぱくZEN
 スクール」を開催した。
 8月19日～8月23日までの5日間、
 茨城県内はもとより、愛知県からも参
 加者をえての開催であった。
 これは、そのスクールの写真同行記
 である。
 水戸の紙園寺様で、子供達は5つの
 誓いのもと結団式を行なう。中央に立
 つ伊藤清悦副会長より注意事項をいた
 だし、不安と期待に胸をふくらませ、
 いざ出発!!

◎5つのちかい(やくそく)

(1) きょうが よい日であるように
 かいっぱい がんばろう。



- (2) ささえあつてる この世界
 やさしい気持ち だれにでも。
- (3) 不平をいわず よくばらず
 たがいに明るく ありがとう。
- (4) うそをつかず 話し合い
 心と心をかよわせよう。
- (5) きちんとすわって 手をあわせ
 静かに 息を ととのえよう。



お経ビデオ
 (お経)

生活にひろがるやすらぎの世界

第一部 曹洞宗日常勤行式
 お経の唱え方と作法のチェック
 お仏壇のまつり方とお勤めの作法
 仏具の意味と使用方法
 お線香の作法・経本の持ち方・合掌・
 礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚
 小さんの打ち方 他

第二部 曹洞宗日常勤行式
 お経の唱え方と作法のチェック
 お仏壇のまつり方とお勤めの作法
 仏具の意味と使用方法
 お線香の作法・経本の持ち方・合掌・
 礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚
 小さんの打ち方 他

第三部 曹洞宗日常勤行式
 お経の唱え方と作法のチェック
 お仏壇のまつり方とお勤めの作法
 仏具の意味と使用方法
 お線香の作法・経本の持ち方・合掌・
 礼拝の仕方・数珠の持ち方・座法・木魚
 小さんの打ち方 他

●Bete hi-fi カラー49分
 TT60-3028FI ¥6,000
 ●VHS hi-fi カラー49分
 TT60-3028H ¥6,000

●小社へ直接ご注文の場合は、ご希望
 の商品名を(βかVHSか)はつきりお書き
 のうえ下記宛現金書留にてお申し込み下
 さい。確認後、商品をお送りします。(郵送
 料は小社にて負担します)
 〒110 東京都台東区台東4-27-5 秀和園ビル
 東芝EMI(株)マーケティングセンター
 TEL(03)837-0634

製作・発売 東芝EMI株式会社
 ●ご注文は、お近くのレコード店、ビデオ取扱
 店へどうぞ。

事務局だより

活動報告の前期、後半を報告いたします。この時期、事務局の担当、研修課が宇田照彦課長となりました。

- 七月二十八日 組織委員会(京都) な・シルクロード博協 議(奈良)
- 三十一日 BS観光打合せ名古屋
- 三十一日 曹青通信第五十一号発行
- 八月二十日 全国曹洞宗青年監修 「曹洞宗のしきたりと作法」発行
- 二十九・三十日 禅の集研 佐賀(佐賀)
- 九月 七日 なら・シルクロード博協 議元興寺県庁広告関係
- 九日 全日仏曹宗派代表者会議 (東京グランドホテル)
- 十日 事務局会議
- 十八日 近畿管区宗務所長会議 (京都)
- 十八日 東海曹青ソフトボール大会
- 二十九・三十日 東北大会(福島)

- 十月 一日 理事会、事務局 会長、研修委員長
- 二日 事務局会、全日仏曹宗派代表者会議

広報委員会より 訂正とお願い

前号51号のカレンダー紹介の中で、三重曹青「禅僧の筆痕」、巻末各頁の語意解説「朝日泰峯老師」となっておりますが、余語業老師のあやまりでした。また、カレンダーは非常に評判がよく、残部僅少となっております。御入用の方は早目に申し込みをお願い致します。

組織委員会より お知らせ

全国曹洞宗青年会も十二年を経て第七期となり、すでに全国該曹青三十六団体の加入がこなわれおります。さらに今年度中には、あらた北海道第一宗務所第二教区青年部等、約四十数団体の四千名の会員の方々が加入を検討しております。

組織委員会では、会員名簿の作成に当り、各曹青の評議員を通じて登録名簿の提出をお願いしております。先に提出用紙は配りしてあります。用紙は三枚に分かれ、新規団体加入用、継続団体加入用、変更登録名簿(追加、削除)となっております。未提出の所は早めに提出して下さい。お願い申し上げます。

まだまだ少ない会員応募数!!

曹洞宗ボランティア会

先号の曹青通信に、曹洞宗ボランティア会の会員募集ラッシュを同封していただき、すでに二十名の方から入会のお申し込みをいただいた。これまでも、度々当会の活動を曹青通信の誌上で紹介していただき、常日感謝の曹青のみさまの御協力に心より感謝申し上げます。

さて、曹洞宗ボランティア会の活動も前身の曹洞宗東南アジア難民救済会議の活動時期も含めるとすでに七年が経過しております。その七年の間に、活動範囲もカンボジア・難民キャンプからラオス・難民キャンプそしてタイ農村、スラムにも活動を拡げています。活動の充実とともに、国連やヨーロッパの団体からも活動助成を受けると、海外で活動する民間団体(NGO)としての評価も高まってきています。

この間、多くの方々から物心両面に渡って様々な御支援をいただきました。タイでの活動が充実してきた背景には、ボランティアとして駐在しているスタッフの努力があったと思。現在当会には、六人の日本人スタッフをタイに派遣している。長い入って三年以上、短くとも一年以上活動している彼らのはんどは、

ボランティア活動家として、一生を海外協力活動に献身する意欲がある。パナマ事務局長を務める泰展也所長は、曹青通信の第四九号でも紹介していただいたが、ボランティア活動を通して、タイではスラムの天使と呼ばれ、その教育活動によって、アジアのノール平和賞とも称されるマザサイサイ賞を受賞し、タイで最も尊敬される女性であるアラタイ・アソと結婚。現在はスラムの中に新居を構え、それぞれ活動に打ち込んでいます。

スラムに住み始めて、ようやくスラムの人々と打ちとけていけるようになったという泰所長は、当然タイに情を埋める覚悟だ。

「アメリカの大学卒業し、日本でサラリーマンを一年し、満員電車に押しつぶされ、夜遅くまで仕事をする毎日」が流された無意味なものに思えてきた。スラムや農村、難民キャンプ、タイには日本では想像できないくらい、大きな自らが向上させるのだという意欲込みには、日本人にない輝きがある。その意味では、生きているという存在感が、タイにはあると思。

生きる喜びをタイの人々と夢を共有しながら活動するのボランティアだとも泰所長は話す。パナマから東北へ六〇〇キロ離れたラオス人難民キャンプでは、当会のラオス語図書印刷所、図書館が、この図書館に幼ない難民たちと一緒に図書館教育を実践するスタッフがいる。九月一日付の朝日新聞夕刊に大きく紹介されたので、御存知の方も多いとは思いますが、スラムの安井清子氏は、図書館を通じて子供たちの識字教育を行っている。難民キャンプの九〇%は文字を持たない少数民族民族だ。

「確かに、子供たちに文をというものは勇ましいことではない。けれど、モンの子供たちの純粋性ならぬ、おもしろいコンピュータゲームに熱中する日本の子供たちとは違う。子供が社会の宝なら、モン族の人々の未来の方が明るいんじゃないかと思」

日本でも子供を対象とした図書館活動を行ってきた安井の目的は、モンの子供に難民の方がいきいきと見えても、泰所長にしても安井にしても、援助



SVAのカレンダー 1988年版
ラオス・カンボジア難民キャンプ製作

SVAでは発足以来、カンボジア、ラオス難民の自立を支援すべく教育、文化活動を行って参りました。中でも「印刷出版プロジェクト」は、カンボジアやラオスにおける出版文化の発展、難民の人々の教育文化の向上を図る重要なプロジェクトの一つです。このカレンダーは、技術習得の成果の発表として、また、日本からの援助に対するお礼の意味を含めて、毎年難民自ら製作しているものです。

異国の地で、祖国への想いを胸に抱きながら一つ一つ作ったカレンダーです。どうぞ皆様のお手元へ、難民の心を...

タイプI
カンボジア
カレンダー
ワタ 95cm
ヨコ 52.5cm

タイプII
モン族カレンダー
ワタ 90cm
ヨコ 50cm

アンコールワットを背景に描かれたカンボジア難民キャンプでは、カンボジアの文化継承のため、舞踏、音楽、絵画、絵画などの教育活動を展開しています。そこで難民の人が描いたものです。しなやかな指で描かれた想いが伝わるようです。

お申し込みの方法
お申し込みは、お電話かおはがき、専用申し込みがきでお願いいたします。ご希望の商品の名前と数量、そして御氏名、郵便所、お電話番号を御記入下さい。お支払いは、商品到着後10日以内に郵便振替でお振下さい。送料は実費を請求致しますので、代金と共に、お支払い下さい。

委託販売をしていただけの方募集
カレンダーを通じて、難民の人々とのつながりを広めていけたらと、SVAでは願っています。貴方のお勤め先や学校など、貴方のまわりの方々にカレンダーを勧めてみてくださいませんか。10枚以上買取ってくださる方には、1枚無料で進呈いたします。

曹洞宗ボランティア会
〒170 東京都豊島区集善1-28-5
ヒカリビル301 ☎03(945)0981
郵便振替 東京5-617224